新村橋上部工 工事だより

2026年 10月 Vol.4

世界一の紅葉とも称される「涸沢カール」は、10月上旬に紅葉のピークを迎えました。現場から望む山々も、10月中旬から下旬にかけて鮮やかに色づいていました。美しい紅葉の季節が終わると、山頂は一面の雪景色へと移り変わり、現地では最低気温が氷点下となる日が続いています。
現場ではコンクリート工事が完了し、現在は鉄塔の組立作業を進めています。こげ茶色に塗装された鉄塔は、上高地の山々の景観にもなじみ、観光で訪れる皆さまの目を引いています。

現場作業の様子

鉄塔は、1部材あたり約5mの長さがあり、最大で6.2tもの重量があります。部材は三重県津市にある自社機材センターから運搬し、50t吊りRCを使用して組み立てました。
鉄塔部材は高力ボルトで連結しており、1か所の接合部には120本ものボルトを使用します。ボルト孔の径が24.5mmであるのに対し、ボルトの直径は22mmのため、余裕はわずか2.5mmしかありません。難易度の高い連結作業では、鳶職とクレーンオペレーターが無線で合図を取り合いながら、mm単位で慎重に位置を調整しています。大きな構造物を扱うため一見すると大胆な作業に見えますが、実際には高い精度が求められる、非常に緻密な作業です。


鉄塔組立


鉄塔基礎


鉄塔組立
背景の山といい感じにマッチしてます！

１１月の主な予定

A2側鉄塔組立　11/2（月）～
治残運搬路整備　11/2（月）～

※天候や作業の進捗により変更する可能性があります。
11/20で今シーズンの作業は終了となります。

【工事に関するご意見・お問い合わせ】

令和6年度上高地新村橋上部工工事
JFE・ヤマウラ特定工事建設共同企業体

〒390-1401
長野県松本市波田3094-2
電話：0263-31-5238

現場代理人　栗田